

68 道の起点-日本橋 (2021年6月24日)

前回、歌川広重が描いた木曾街道（中山道）は、江戸時代（1603-1868）に整備された五街道の一つであることを紹介しました（<https://www.fr.emb-japan.go.jp/files/100202934.pdf>）。五街道は、江戸と地方を結ぶ道で、全て日本橋を起点としています。歌川広重が描いた「東海道五十三次」と「木曾街道六十九次」は日本橋から始まります（後者は、歌川広重と潔斎英泉との合作）。二つの日本橋の絵は異なりますが、いずれも活気あふれる町の雰囲気伝わってきます。



« Nihonbashi » dans la série des
« Cinquante-trois Relais de la route du Tokaido »
par UTAGAWA Hiroshige
歌川広重「東海道五十三次 日本橋」



« Nihonbashi : neige au petit matin » dans la série des
« Soixante-neuf Relais de la route du Kisokaido »
par KEISAI Eisen
溪斎英泉「木曾街道 續ノ壹 日本橋 雪之曙」

日本橋には多くの人や物が行き交い、江戸は商業や文化の中心地となりました。1800年頃、パリの人口は60万人*であったのに対し、江戸の人口は120万人に達し、世界最大規模の都市であったと言われています。日本橋の周辺には、海苔や鰹節といった食材や木綿の間屋、呉服店、両替商が集まりました。かつての間屋は老舗の専門店、呉服店は百貨店、両替商は銀行となり、今でも商業と金融の町として発展しています。



Nihonbashi / 現在の日本橋

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

日本橋は、何度か架け替えられましたが、今でも存在します。日本橋は、日本の道路元標となっており、東京から何キロと計算するときは、日本橋を起点としています。フランスで言うなら、パリのノートルダム大聖堂の前にある道路元標に当たります（ノートルダム大聖堂の工事のため、現在は立入り不可）。



le point kilométrique zéro des routes
(France et Japon(réplique))
日本（複製）とフランスの道路元標

日本橋は、橋の上を通る首都高速道路に一部覆われています。首都高速道路は、1964年に開催された東京オリンピックの会場を結ぶなどの目的で、前年に開通しました。毎日10万台もの自動車が通行に耐え得るために、設備の更新が進められています。日本橋近辺の道路は地下化されることとなり、昨年からは地下化に向けた工事が始まりました。完成は、2040年の予定です。20年後には、日本橋の上を通る道路がなくなって日本橋が綺麗に見えるようになり、新たな景色が誕生することでしょう。

* カルナヴァレ博物館（パリ市立歴史博物館）によると、パリの人口は、1637年に40万人、1680年に50万人、1789年に60万人。